

大学の授業をデザインする (第12回)

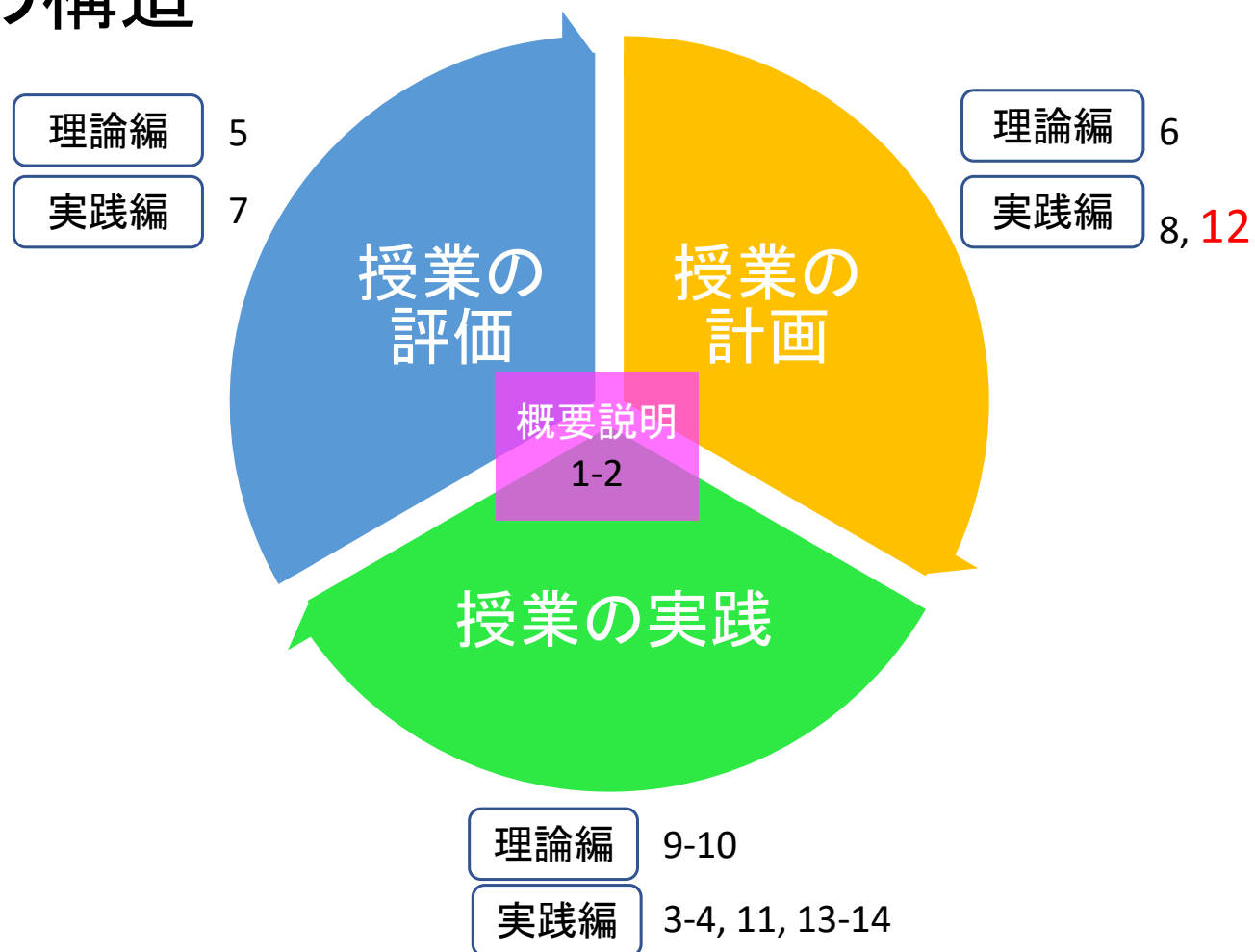
九州大学未来人材育成機構
長沼祥太郎



12. 授業デザインシート（実践）

内容	時間	授業形態	備考
前回の復習	5分	説明	
フィードバック	10分	説明	
ポスターツアーの準備	15分	ワーク	
ポスターツアーの説明	5分	説明	
ポスターツアー	50分	ディスカッション	
まとめ	5分	説明	
DAY7に向けて	5分	説明	

この授業の構造



授業デザインシートの要素

意図	授業形態	集団様式	教材	ツール
<ul style="list-style-type: none"> 準備 動機付け 目標・主題設定 具体化 体系化 練習 応用 まとめ 授業評価 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 説明 指示 発問 質疑応答 映像視聴 課題作業 ディスカッション 発表 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉 個人 ペア グループ 全体 その他 	<ul style="list-style-type: none"> テキスト 画像 音声 動画 実物 その他 	<ul style="list-style-type: none"> レジュメ PPT DVD 板書 その他

No.	時間	内容	意図	授業形態	集団様式	教材	ツール	メモ
授業デザイン用ワークシート			名前〔 〕 授業日〔 〕 授業テーマ〔 (回目/ 回中) 〕					
1	10分	資料の配布と担当者の自己紹介	準備	説明	クラス全体	テキスト	ppt、概要レジュメ	
2	5分	今日の講義の流れの説明	目標・主題設定	説明	クラス全体	テキスト	ppt、概要レジュメ	
3-1	5分	現在の天皇家に関する重要な新聞記事とニュースの提示	動機づけ、知識伝達	映像視聴	クラス全体	画像・動画	DVD、OHC	
3-2	15分	新聞記事とニュースをふまえた上での、現在の天皇家に関する事実関係の解説	知識伝達	説明	クラス全体	テキスト・画像	ppt、概要レジュメ	

「意図」の説明

カテゴリー	項目	説明	
意図	準備	授業内容に入る前の準備	教員の自己紹介、出席確認、これまでの進捗の確認、資料配布など。
	動機付け	学生の興味を喚起	授業の到達目標を、学期の冒頭や個別の授業の冒頭で説明する
	目標・主題設定	授業の目標や主題の明確な提示	問題提起や実践的な課題（例えば「みなさんはx xについてどのように考えますか」「現在、x xの領域ではこれらのことが問題になっており、関心をよんでいます」など）の提示など。
	知識伝達	学生がまだ知らないと考えられるような基本的知識・技術の解説	口頭のみ、もしくは資料や教材・機材を用いて、学生に対して授業の主題に関する基本的な事柄を解説するなど。
	具体化	授業内容の具体例の整理	授業内容について、理論や知識だけでなく具体的な事柄を例示して解説するなど。
	体系化	授業内容の整理	授業の内容全体をまとめた解説や資料の提示、授業内容のまとめを学生に発表させたりレポートとして提出させたりするなど。
	練習	授業内容を実際に用いるための練習	例えばコミュニケーションに関する理論を学んだあとに、実際にグループでその理論を使用しながらコミュニケーション実習を行うなど。
	応用	授業内容の実際の事柄への適用	授業内容が、現実の場面においていかに活用可能であるかについて解説したり、応用を促したりするなど。
	まとめ	授業目標や主題の振り返りと、到達点の提示	授業の最後にその日の内容を振り返る、次回の授業への接続を行うなど。
	授業評価	授業内容や講義者、学習者である自分自身についての学生の評価	リフレクションシートや授業内容の検討を目的としたレポート課題を課すなど。

「授業形態」の説明

カテゴリー	項目	説明	
授業形態	説明	教員から学生への一方方向的な知識伝達	レジュメによる講義、パワーポイント・キーノートによる講義など、形式は問わない。
	実演	教員が学生の前で行う活動	例えば化学実験や心理学におけるカウンセリングのロールプレイなどを学生の前で行うことなど。
	指示	学生に対する何らかの指示	例えば「x xを読んだことのある人は手をあげてください」など、指示によって学生の行動を促すこと。
	発問	学生に対する質問	答えが限定されるような質問（例えば「あなたは現在の日本の大学教育についてまとめられた論文を読んだことがありますか」など）と、答えが限定されない、考えを広く問うような質問（例えば「あなたは日本の大学教育についてどのように考えますか」など）の両方が含まれる。
	質疑応答	学生からの質問とそれに対する返答	授業中に学生からの質問を受け付けること。また、それに対して教員が返答し、やりとりを行うことなど。
	映像視聴	映像教材の視聴	DVDやビデオなどを教材として学生に見せることなど。
	課題作業	課題の実施（個人・グループは問わない）	例えば「この資料を各自で読んでこの場でまとめてみましょう」「この問題を解いてみましょう」など、学生に課題をあたえ、個人・グループで作業させることなど。
	ディスカッション	学生同士のディスカッション。グループの人数は問わない	「例えば「この点について隣の席に座っている人と一緒に考えてみましょう」「この点について、グループでまとめて考えてみましょう」など、あるテーマを与えて（もしくはテーマ自体を）議論させることなど。
発表	学生に授業に関わることについて報告・発表させること	例えば「この点について考えたことを述べてください」「この点について調べてきたこと考えたことについてパワーポイントなどを用いてプレゼンしてください」など、学生にテーマを与えて（もしくはテーマを考えさせて）、それについて報告・発表させることなど。形式は問わない。	

「集団様式」の説明

カテゴリー	項目	説明	
集団様式	個別	学生に個人で作業させる	例えば授業内で課題を出して考えさせたり、資料を読んだりさせるなど。
	ペア	学生にペアで作業させる	例えば学生に、2人で議論させたり何かをまとめたりといった作業をさせるなど。
	グループ	学生にグループで作業させる	例えば学生に、グループで議論させたり何かをまとめたりといった作業をさせるなど。
	クラス全体	教室にいる学生全体に作業させる	例えば教室全体に対して、説明をしたり、全体で議論をするなど。

「教材」「ツール」の説明

カテゴリー	項目	説明	
教材	テキスト	文字を用いた教材	例えばレジュメや教科書、パワーポイントなどによる文字情報。
	画像	画像を用いた教材	例えばレジュメや配布資料、パワーポイントなどによる写真、イラスト、グラフ、図、漫画など。
	音声	音声を用いた教材	例えばCDやテープによる歌、インタビューの録音などの音声情報
	動画	動画を用いた教材	例えばDVDやビデオ、PCによる動画情報。
	実物	教材として実物を用いたもの	例えば保管されている昔の重要な資料（実物）や、ゲストティーチャーのような人物など。
カテゴリー	項目	説明	
ツール	概要レジュメ	授業の流れや要点をまとめたレジュメ	授業の構成（目次）、キーワード、キーワードの簡単な解説など。
	内容レジュメ	内容を詳細にまとめたレジュメ	授業の流れや要点だけでなく、テキストとして用いることができるような詳細な解説を加えたもの。
	PPT配布資料	授業中に提示したPPTの印刷版	教員が授業中に利用したパワーポイントやキーノートのファイルをプリントアウトしたもの。
	PPT	パワーポイント・キーノートといったプレゼンテーションソフトの使用	例えば授業全体をプレゼンテーションソフトによって進めたり、視覚的な情報や強調点を提示したい場合のみに使用するなど。
	DVD・ビデオ・CD	DVD・ビデオ・CDの使用	ニュースや映画、ドキュメンタリー、自作教材など。
	メモ板書	単語レベルでの板書	キーワードを板書したり、図示したい場合に板書するなどメモのような板書。
	構造板書	キーワードとその解説というような文章のレベル	単語の羅列だけではなく、その説明が簡単に書かれるなど、授業の文脈が分かるように構造化された板書。

みんなのデザインシートを見ての所感

- 良いところ
 - 導入-メインの活動-まとめという構造が多く見られる
 - 「意図」や「授業形態」「集団様式」に関して、多様で良い。
 - メモ欄を見るだけで、皆さんがよく考えたことがわかる！
 - 目標もいい感じ！（RUMBA）
- 改善を検討して欲しい点
 - 「クラス全体」の割合が多い
 - 「個別」「ペア」や「グループ」が少なめ
 - 「知識伝達」の位置付け
 - 反転授業のように、授業外学習との組み合わせを考えてみる
 - 立てた目標を達成できたかどうかを確認できる場所を確保しているか
 - グループやペアをどう組み合わせるかまでも考える必要あり

例1：「意図」で色分け

知識伝達が多すぎるのでは？
何か工夫は？

準備	準備	準備	準備	目標・主題設定	準備	準備	準備	準備	目標・主題設定	準備	準備	準備	準備	準備
目標・主題設定	目標・主題設定	目標・主題設定	動機付け、目標・主題設定	知識伝達	目標・主題設定	目標・主題設定	準備	目標・主題設定	動機付け	目標・主題設定	目標・主題設定	目標・主題設定	目標・主題設定	目標・主題設定
動機づけ、知識伝達	動機付け	動機付け	知識伝達	具体化	知識伝達	知識伝達	目標・主題設定	具体化	練習	動機付け	動機付け	動機付け	知識伝達	動機付け
準備	知識伝達	練習	具体化	練習	知識伝達	具体化	動機付け	応用	知識伝達	具体化	動機付け	動機付け	知識伝達	知識伝達
知識伝達	具体化	具体化	練習、応用	体系化	体系化	練習	知識伝達	応用	知識伝達	知識伝達	知識伝達	知識伝達	練習	知識伝達
練習	練習	体系化	練習、応用	応用	具体化	知識伝達	練習	応用	練習	具体化	知識伝達	知識伝達	応用	練習
知識伝達	体系化	応用	まとめ	その他	まとめ	知識伝達	練習	応用	具体化	知識伝達	具体化	具体化	まとめ	知識伝達
知識伝達	授業評価	応用		まとめ	動機付け	応用	練習	まとめ	まとめ	具体化	具体化	知識伝達		知識伝達
練習		まとめ			応用	応用	練習	まとめ	その他	知識伝達	知識伝達・具体化	具体化		練習
練習	具体化				練習		練習		知識伝達		応用	知識伝達		知識伝達
練習	具体化				まとめ		練習				まとめ・授業評価	練習		練習
まとめ	応用						応用			知識伝達		まとめ		まとめ
							体系化				具体化			練習
											知識伝達			
											具体化			
											まとめ			

前半にすこし学習者の活動を入れた方がいいのでは？

動機づけが2回あるのはどうして？

例2：「集団様式」で色分け

クラス全体での活動が多い。
学生の集中力を継続させる工夫は何か
ありますか？

個別で考える時間は
不要？

クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体
クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	個別	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体
クラス全体	グループ	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	クラス全体	グループ	個別	クラス全体	クラス全体	個別	クラス全体	クラス全体
クラス全体	クラス全体	個別	クラス全体	個別	クラス全体	クラス全体	クラス全体	グループ	クラス全体	グループ	グループ	ペア	クラス全体	クラス全体
クラス全体	クラス全体	グループ	個別	クラス全体	クラス全体	個別	クラス全体	グループ	クラス全体	グループ	クラス全体	クラス全体	個別	クラス全体
ペア	グループ	クラス全体	グループ	個別	クラス全体	クラス全体	その他	グループ	クラス全体	グループ	クラス全体	クラス全体	グループ	個別
クラス全体	グループ	クラス全体	クラス全体	グループ	クラス全体	クラス全体	その他	グループ	クラス全体	クラス全体	グループ	個別	クラス全体	クラス全体
クラス全体	クラス全体	個別		クラス全体	クラス全体	個別	その他	クラス全体	クラス全体	クラス全体	グループ	クラス全体		クラス全体
ペア		クラス全体			ペア	クラス全体	その他	クラス全体	クラス全体	クラス全体	個別			個別
グループ	ペア				グループ		ペア		クラス全体	クラス全体	クラス全体	グループ		クラス全体
グループ	ペア				クラス全体		クラス全体				クラス全体	個別		個別
クラス全体	ペア						クラス全体				個別		クラス全体	クラス全体
							クラス全体				クラス全体			個別
											クラス全体			
											クラス全体			
											クラス全体			
											クラス全体			

どういう時にペア
ワークをさせ、ど
ういう時にグルー
プワークをさせる
のですか？

クラス全体が多すぎ
る気がしますが、学
習者の集中力を保つ
工夫はありますか？

質問を書く(15分)

Moodleに全員分置いてます。まず4人分、考えてみてください。

1. セッションデザインシートの改善方法を学ぶ方法:

- 自分が入り入れなかった意図や活動、形式を取り入れた人から
- 自分のシートと似ているが、異なる構造の人
- 見慣れない構造のシートの人

2. 質問を書きましょう (ポストイット1枚に一人の質問)

To 久松さん From 長沼

質問
知識伝達のパートがどうしても多くなったんですが、どうやって減らしたんですか？

To ソウさん From 長沼

質問
シンク・ペア・シェアを使ったと書いてありますが、具体的にどう使うのかももう少し教えてもらえますか？

相手の名前と、自分の名前を忘れない様に。

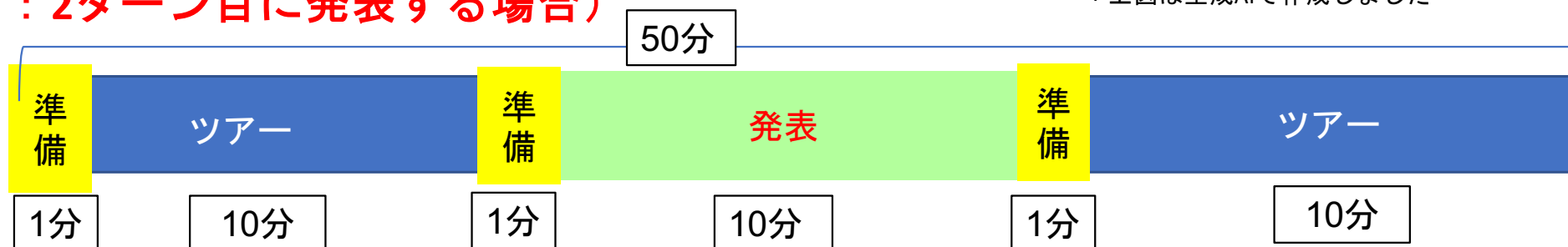
ポスターツアー（50分）

- 10分ずつ、4回のターンで実施。
- **発表1回(発表)**：自分の授業デザインシートについて発表。
- **残り3回(ツアー)**：準備時間に、その回に発表する人の中から話を聞きたい人を探す。時間になったら、そのポスターのところに向かい、話を聞き、質疑応答をする。**時間内でも自由に移動してok。**
 - ② 自分の授業デザインに活かせるところはないかを探す。



* 上図は生成AIで作成しました

(例：2ターン目に発表する場合)



ポスターツアーの進め方

これが私の授業
デザインシート
です。たくさん
質問をいただき
ました。まずは
これから・・・

No.	Duration	Contents	Intention	Activity	Form	Materials	Instruments	Memo
1	0 min	Distribution of handout; giving assignments for expert group	Preparation	Explanation	Whole Class	Text, Images	Handout	
2	5 min	Explanation of jigsaw activity and learning goals for the session	Motivating	Explanation	Whole Class	Text, Images	PPT	Students will be asked to discuss the role of an occupation of a specific social status (e.g. merchant, "samurai", "working peasant", daughter of an artisan, etc.) in the late Edo period. The reasons of the handout and the discussion question focus about a specific social class; students serve as a representative of their assigned social status in the jigsaw activity.
3	10 min	Lecture related to social status in the Edo period (on examination that have completed out-of-class reading)	Knowledge Delivery	Explanation	Whole Class	Text, Images	PPT	
4A	5 min	Presentation of questions for jigsaw activity; rearranging of classroom furniture (as needed)	Preparation	Explanation	Whole Class	Text, Images	Handout	
4B	5 min	Individual Work: Students open up the handout, take notes and discuss questions with a partner. A discussion question will guide later discussion.	Practice	Work	Individual	Text, Images	Handout	
4C	10 min	Expert Group: Students discuss their thoughts on the material/contents of those assigned the same status; the group's question becomes coefficient in playing the jigsaw activity	Practice	Discussion	Group	Text, Images	Handout, Board Writing	
5	5 min	Break	N/A	N/A	Whole Class	N/A	N/A	

To: 久松さん From: 長谷
質問
知識伝達のパートがどうしても多くなっ
たんですが、どうやって減らしたんですか？

To: 久松さん From: 長谷
質問
知識伝達のパートがどうしても多くなっ
たんですが、どうやって減らしたんですか？

もう少し詳しく説明
してもらえますか？



他の質問をしても
いいですか？

さらに検討して欲しいポイント

1. これまでに学習した内容を活用できないか考えてみて欲しい
 - a. シンクペアシェアは使えないか（特に理系の学生）
 - b. 反転授業は使えないか（知識伝達が多い場合）
 - c. ジグソー法は使えないか
 - d. ピアインストラクションは使えないか（特に理系の学生）

1. 「ディスカッション」の拡散と収束（特に文系の場合）
 - a. 多様な意見・考えが出るトピックでこそディスカッション
 - b. 一方で、ディスカッションの最後には**収束するように**
 - i. 例：ランキングをつけさせる（初日）
 - ii. 例：表を作らせる（今日）
 - iii. 例：プレゼン資料を作らせる（今日）

まとめ

1. TFとして授業をする場合には、是非このシートを作成し、事前に教員と相談しておくことをお勧めします（科目別講習）
2. 慣れるまでは、授業デザインシートを書くことで、自分の授業の組み立てを考えたり、振り返りがしやすくなります
3. 「自分が学生だったら、この授業構成で90分集中できるか？」という目線で自分のシートを見直すと効果的です

最終課題の提出:

最終課題として提出してください。

- 逆向き設計論のテンプレート
- シラバスのテンプレート
- ~~授業デザインシート~~

締め切り: /(日) 23:59（間に合いそうにない人は別途連絡してください）

提出場所 : Moodleの下部 “最終課題提出用”

DAY7について

- 次回授業

- 日時： / () 限 (-)

- 教室は-から開けておくので、確認作業などしたい人はどうぞ

- **場所：伊都キャンパスセンター**

- 持ち物：PC等デバイス、飲み物

- マイクロティーチングの資料提出

- 締切：**DAY7当日（正午）** 厳守

次回の授業までの課題

- 次回は、**マイクロティーチング（模擬授業）**を行います。

内容	<ul style="list-style-type: none">• 自分が将来大学で担当しそうな科目を想定• その中で一つの概念を取り扱う程度（初回の導入はダメ）
形式	<ul style="list-style-type: none">• 一人15分<ul style="list-style-type: none">• 授業の切り出しではなく、15分間のミニサイズの授業• 対象は、一般的大学の1,2年生を想定• スライド提示あるいは板書など形式は自由
事前提出物	提示資料（pptなど）

（注意事項）

- iPadで**撮影**します。
- 今までの授業を通して、**前回からどれだけ授業スキルが向上したか**に興味があります。
- 成績評価の**対象**です。
- 授業者以外は、「**その授業に参加している学生**」として授業を聞くようにしてください。
- 授業デザインシートの演習で学んだことを活かせると思います。

【重要】次回までの課題

1. マイクロティーチングの準備
 - a. 過去の受講生の中から**グッドプラクティス**を選んで動画で公開します。
ご自由にご覧ください（このメンバーでの利用にとどめてください）
2. 事前動画の視聴
 - a. 合理的配慮に関する事前動画を視聴してきてください
3. 振り返りシート
 - a. 今日のコメントを記入してください



では最終日にお会いしましょう！